

学校法人湘中央学園 沖縄アカデミー専門学校自己評価表（平成29年度）

1．学校（学科）の教育目標

（1）国家試験受験科目について

本年度の卒業生から介護福祉士国家資格（5年間介護業務の継続が条件）と国家試験受験資格の2つが取得できることになるが、学科として介護福祉士国家試験の受験を目指し、教育課程の見直しを行い実施することとした。

（2）進級・卒業について

遅刻や欠席の多い学生や成績不良の学生に対し、保護者を含めた3者面談を実施し、改善を図る。

（3）就職について

就職活動の意識付けのため、学内就職ガイダンスや沖縄県社会福祉協議会による職業説明会等への参加により、就職率100%を継続的に維持する。

（4）教職員について

教職員の資質向上のため、勉強会、研修会等へ参加し、学生教育や学生指導・支援に繋げる。

2．財務体質の安定化

（1）入学生数の確保

財政の安定化に繋がる学生募集を最優先事項として取り組む。

（2）講習会の開催

視覚障害者に対する障害者サービスに必要な同行援護従業者研修を開催する。

（3）人件費、支出の抑制と見直し

科目担当の人員構成を検討し、抑制に努める。また、消耗品については、費用対効果を考慮し、支出の削減に努める。

3．組織構造の改善

（1）委員会の開催

法人との連携を深めるため、委員会を開催する。

（2）教職員配置の再考

教職員の職務分担を再考する。また、特に本年度から計画実施する介護福祉士国家試験の合格率100%を目指していく。

（3）教職員間の情報の共有化

教職員間の情報の共有により、業務の効率を図ることもでき、学生指導の敏速化に繋げる。

（4）教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会の実施

職業実践専門課程として、其々の委員会を実施し、検証し改善するよう努める。

4. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目的、人材育成

評価項目	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1
建学の精神、教育理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校における職業教育の特色は適正か	4
建学の精神、教育理念・目的・育成人材像が生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科に対応する業界のニーズに適合しているか	4

課題

学生や保護者に対して、建学の精神、教育理念や教育目標についての周知度は十分とはいえない。

今後の改善方策

学園報や学校行事の際など、学生や保護者の方々とかわる機会には、建学の精神や教育理念に触れ、引き続き周知していくよう努める。

(2) 学校運営

評価項目	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1
事業計画及び目的に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

課題

学校運営を安定化させるためには、入学生の確保が重要である。

今後の改善方策

スマホ対応のHPやマスメディア等を活用した広報活動を行うと共に、今後も県や関係団体と連携し活動して行く必要がある。

(3) 教育活動

評価項目	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4

成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
成績不良者への対応は適切か	4
資格取得の指導体制はあるのか	4
資格取得できなかった者に対する対応は適切か	4
人材育成目標に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における優れた教員の提供先を確保するなどマネージメントが行われているか	4
先端的な知識・技能、情報等を修得するための研修への取組が行われているか	4
教職員の指導力育成など資質向上の取組が行われているか	4
各教員間及び各部門間の連携はスムーズに行われているか	4

課題

同じ領域の学科目や他の領域の学科目との連携や学生の学科目習得の状況に応じた履修が必要である。

今後の改善方策

学科目の連携や学生の学科目習得の状況等に応じ、科目履修の時期等を再考・実施し、教育効果の向上に繋がっているか検証していく。

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているのか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4

課題

年度における就職については、全員が就職へと繋がってはいるが、早い時期から意識するよう学生指導を行う必要がある。

今後の改善方策

就職に対する意識を高めるため、学校内での就職説明会を実施することで、早期の就職活動へと繋げていく。

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4

保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
関連分野における業界との連携による再教育プログラム等を行っているか	4
高校・高等専修学校等の連携によるキャリア教育・職業教育への取組が行われているか	4

課題

学生への経済的側面に対する支援体制は概ね良好である。また、卒業生への支援体制は十分とはいえない。

今後の改善方策

経済的支援は、独自の制度はないが、公的機関の修学資金等の拡充や継続について引き続き、県に請願していく。また、同窓会と密に連携することにより、卒業生の支援体制に繋げることができる。

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
機器・備品は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
図書室の設備等は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学外実習等についての十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	4

課題

施設・設備は、教育上に対応しているので問題は生じていないが、施設の老朽化は否めない。

今後の改善方策

教育環境の整備も学生募集において、大きな要素の1つであることから今後も計画的に改修計画の作成・実行が必要である。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
高等学校に対する情報提供等の取組が行われているか	4
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、資格取得、就職状況の情報は正確に伝えられているか	4
学生納付金は妥当なものとなっているか	4
学生募集の効果と実績を検証しているか	4

課題

入学定員の充足させるよう工夫が必要である。

今後の改善方策

広報活動の現状を分析し、有効となる媒体の導入やスマホ対応のホームページにより、気軽にアクセスできる環境にすることで学生募集に繋げる。

(8) 財務

評価項目	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
財務について会計監査が適切に行われているか	4
財務情報公開の体制準備はできているか	4

課題

予算・収支計画は、妥当とは言えない。入学生の確保が、財務を安定させるためには重要といえる。

今後の改善方策

予算の執行は、優先順位を考え教職員が率先して経費節減に務める。また、広報活動の工夫や県をはじめ公的機関や介護関連団体等と連携しながら、介護業界のイメージアップをすることにより、学生募集に繋がる。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
法令、条例による報告、点検、検査が適切に実施されているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

課題

法令等による設置基準の遵守や報告、点検等は適切に行われているが、自己評価の実施と問題点改善に更に努める必要がある。

今後の改善方策

法令等の遵守は、継続して行う。また、自己評価の実施や問題点改善には、今後も検証し、改善していく必要がある。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
公開講座、教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4

課題

社会・地域貢献は、概ね良好である。

今後の改善方策

学生のボランティアをさらに活性化することにより、社会への貢献や教育効果の向上にも繋がる。